

事業報告

子どもゆめ基金20周年記念事業 「ふれんどキャンプ（防災編）」



令和4年1月15日（土）、16日（日）

【参加者】福島県内の小学校4～6年生
【場所】国立磐梯青少年交流の家



○事業趣旨

ゲーム性のある防災学習を題材に協力・信頼の大切さを知る。また、協力して課題を解決する経験を通して自己肯定感とコミュニケーション能力の向上を図る。

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1月15日（土）	晴天 荒天							受付	開会式・自己紹介 防災カードゲーム① 「ナマズの学校」	防災カードゲーム② 「シャッフル」	防災練習① ・応急手当 ・紙皿づくり	防災練習② ・ロープワーク ・救助練習 （毛布担架）	夕食	シャッフルカードゲーム + 大会練習	ミーティング	就寝準備など	就寝
1月16日（日）	晴天 荒天	起床・準備	朝の体操	朝食	荷物整理・清掃	部屋点検	防災大会 ①シャッフル大会 ②製作物競争 ③応急手当競争 ④ロープ救助 ⑤毛布担架	閉会式（表彰）	昼食								

○期日・参加者・内容・概要

期日：令和4年1月15日（土）～16日（日） 1泊2日

内容：○防災紙芝居ゲーム ○防災カードゲーム ○応急手当 ○紙皿工作 ○ロープワーク ○毛布担架

概要：福島県内の小学4～6年生を対象に活動した。防災活動を題材にコミュニケーションの場や協力する場面を多く設定した事業である。1日目は防災に関する知識をカードゲームを用いて獲得し、応急手当やロープワークを教えていただいた。学んだ内容を実践して技能の獲得を目指した。2日目には2チームにグループ編成し、防災大会を実施した。参加者が獲得した技能を競い合う白熱した姿が多く見られた。

○成果と課題

<成果>

事業の導入時に防災に関する紙芝居ゲームやカードゲームを行うことで防災に関する知識や意欲、仲間の意見を聞くなどの場面が生まれ、参加者が意欲的に防災について学習するとともにコミュニケーションを深めることができた。ゲームで学んだ内容を実践することで見通しを持って活動し、技能の定着もスムーズであった。

また、2日目に防災大会を実施することで1日目の自由時間にも積極的に防災にかかわる練習に取り組んでいた。すべての種目でチーム戦だったために、友人にアドバイスをしあったり、声を掛け合ったりするなど協力する姿が多く見られた。

本事業を通して「できることが増えた」、「友達を助けることができた」、「友達と協力して課題を達成できた」などの成功体験から自己肯定感の向上やコミュニケーション能力の高まりに関する言葉も多く聞くことができた。

<課題>

全ての参加者が意欲的に活動をしていたが、参加者が6名だったため、防災大会を2チームで実施することになった。1日目の活動班で競ったため「協力して課題を解決」というねらいよりも「勝ちたい」という気持ちが強くなった参加者が見受けられた。1日目に参加者の性格や特性を把握してチームを編成し直したり、スタッフがチームに入りチーム数を増やしたりするなどの工夫が必要であったと感じた。